

### 授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際英米学科) 令和 5 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing I	英語のそれぞれの音をきちんと発音し、聞き取る訓練をする。また、正しいイントネーションを身に付けるための演習を行う。	1前	90	3	○	△		○		○		
○			Shadowing II	Shadowing I で身につけたスキルを更に高めるトレーニングをする。正しいイントネーションやストレスを身に付けるための演習を行う。	1中後	70	2	○	△		○		○		
○			Reading / Writing I	多読教材(Graded Readers)の活用により、語彙力・リーディング力の向上を目指す。また、精読を通して長文読解力の向上を目指す。	1前	108	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing II	Reading I から継続し、多読・精読を通して語彙力・リーディング力の向上を目指す。	1中後	90	3	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking I	ロールプレイやゲームなど様々な方法を組み合わせて英会話に慣れ親しむことを目的とする。	1前	108	3	○	△		○			○	○
○			Listening / Speaking II	ネイティブとのコミュニケーションをとおして自分の意見や考えを英語で言えることを目的とする。	1中後	90	3	○	△		○			○	○
○			Grammar I	英語の基礎的な文法を習得することを目的とする。またこれらを用いて初歩的な会話や文章が作成できるようトレーニングを行う。	1前	72	2	○	△		○		○		
○			Grammar II	Grammar-I で学んだ文法をより高いレベルで習得するだけでなく、これらを用いて会話や文章作成できるようになることを目的とする。	1中後	30	1	○	△		○		○		
○			英検・TOEIC I	英検準2級、TOEICリスニングパートの対策を中心に進め、大量の英語に触れながら出題傾向を知ることによって得点力向上を目指す。	1前	36	1	○	△		○		○		
○			英検・TOEIC II	文法・語彙項目対策とリーディング対策を中心に行い、ビジネスにおけるコミュニケーションで必要最低限の知識習得を目的とする。	1中後	30	1	○	△		○		○		
○			英会話実践 I	Grammarで学んだ文法を用いて、オンライン教材で外国人講師とマンツーマンの英会話を実践することで、アウトプットの向上を目指す。	1前	36	1		○		○		○		
○			プレゼンテーション	PowerPointを活用して効果的に英語プレゼンテーションを行うための技術・能力を身につけ、リサーチしたテーマに関する英語プレゼンテーションを行う。	1後	30	1	△	○		○		○		
○			異文化研究	日本と海外の違いについて学び、幅広い視点からの見聞を広めることを目的とする。	1中	50	2	○	△		○		○		
○			キャリアデザイン I	就職に向けて職業観の育成、コミュニケーションの重要性、行動目標設定、自己表現力を磨き、就職活動への意欲を高める。	1通	60	2	○			○		○		○
○			アプリケーション演習	ビジネス社会におけるデータ入力技法とワークシート作成、パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を身に付ける。	1前	72	2	○	△		○		○		
○			ジョブパス	人材育成の視点から、8つの意識（顧客、品質、納期、時間、目標、協調、改善、コスト）を中心にスキルとマインドを身に付ける。	1中後	30	1	○			○		○		
○			秘書概論	秘書検定3級や2級の取得を目標として、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の利活用などを学ぶ。	1前中	108	3	○	△		○			○	
○			TOEIC演習 I	英語コミュニケーション力向上の必要性に鑑み、実践的TOEIC問題集を中心に講義・演習を展開する。主な力点はリスニングとリーディングに置く。	1前	60	2	△	○		○		○		
○			海外語学研修	海外でホームステイをしながら語学学校に通い、オールイングリッシュの環境に身を置くことで英語力を総合的に向上させる。	1後	160	5			○	○		○		○

### 授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際英米学科) 令和 5 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Shadowing Ⅲ	ビジネス英単語の音をきちんと発音し、聞き取る訓練をする。また、正しいイントネーションを身に付けるための演習を行う。	2前中	120	4	○	△		○		○		
○			Reading / Writing Ⅲ	リーディング・ライティングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	102	3	○	△		○		○		
○			Reading / Writing Ⅳ	リーディング・ライティングをととしてビジネスレベルの英語力習得を目的とする。	2中	60	2	○	△		○		○		
○			Listening / Speaking Ⅲ	スピーキング・リスニングを中心に、一般ビジネスの現場で使われるビジネス英語に慣れることを目標とする。	2前	108	3	○	△		○			○	○
○			Listening / Speaking Ⅳ	ネイティブとのコミュニケーションをととしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする。	2中	60	2	○	△		○			○	○
○			Grammar Ⅲ	ビジネスレベルの表現に必要な英文法力を強化し、長文読解に重点を置きながらトレーニングを行う。	2前	42	1	○	△		○		○		
○			英検・TOEIC Ⅲ	英検準 1 級、TOEIC730点以上の取得を目標とし、英検・TOEIC対策-Ⅲよりさらに深い理解力と応用力を習得する。	2前中	60	2	○	△		○		○		
○			英会話実践 Ⅱ	Grammar Ⅱ で学んだ文法を用いて、オンライン教材で外国人講師とマンツーマンの英会話を実践することで、アウトプットの向上を目指す。	2前	30	1		○		○		○		
○			ディスカッション	実践に重点を置きながら、英語でディスカッションする際に必要なテクニックや表現などについて学ぶことを目的とする。	2中	30	1	△	○		○			○	○
○			English Circle	実践に重点を置きながら、英語で日常会話や慣用表現などについて学ぶことを目的とする。	2前	42	1	△	○		○		○		
○			キャリアデザイン Ⅱ	グループワークやディスカッションを通じて、就職・留学について考え、卒業までに進路を決定させることを目的とする。	2前	32	1	○			○		○		
○			ファイナンシャルプランニング	ファイナンシャル・プランニングの基礎知識を理解し、将来の資金計画の基礎を学び、自分や家族との生活の中で生きた知識として活用できることを目指す。	2前	32	1	○	△		○		○		
○			全経簿記3級	授業を通して複式簿記の仕組みを理解し、日常の取引から決算処理まで簿記一巡の手続きができる力を身に付ける。	2前中	62	2	○	△		○		○		
○			卒業論文	特定のトピックについて深く調べ、理解し、英語で論文を書くあげる練習を行う。	2前	60	2	△	○		○		○		
○			TOEIC演習 Ⅱ	実践的TOEIC問題。集を中心に講義・演習を展開する集中講義。主な力点はリーディングに置き、TOEIC730点以上を目指す	2前	60	2	△	○		○		○		
合計				34 科目		2,230				単位時間	69	単位			

卒業要件及び履修方法

授業期間等

## 授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 国際英米学科) 令和 5 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
<p>◇履修科目の成績評価</p> <p>(1)成績評価は履修科目ごとに、評価する。</p> <p>(2)成績評価は、単位認定テスト、確認テスト、出席率、授業態度、その他課題等によってなされる。</p> <p>(3)評価 …… 成績評価は、A・B・C・D・Eの5段階とする。</p> <p>(4)評価基準</p> <p>A：科目の理解度と授業態度の極めて優秀な者(100～85点)</p> <p>B：科目の理解度と授業態度の優秀な者(84～70点)</p> <p>C：科目の理解度と授業態度の良好な者(69～50点)</p> <p>D：科目の理解度と授業態度がやや劣る者(49～30点)</p> <p>E：科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者(29～0)</p> <p>(5)評価内容(100点満点として)</p> <p>①試験 70点 ②出席 20点 ③授業態度 10点</p> <p>・試験点については、筆記、実技試験、レポート、製作物等の評価点数に70%乗ずる。</p> <p>・授業態度については、各担当の講師の評価とする。</p> <p>(6)成績評価表</p> <p>前期、中期、後期の評価表を作成する。</p> <p>(7)単位認定試験</p> <p>・原則として、全科目、単位認定試験を実施する。</p> <p>◇卒業条件</p> <p>(1)履修時間 本校在籍期間中に1700時間以上を履修しなければならない。</p> <p>(2)卒業単位の取得 本校在籍期間中に62単位以上を取得しなければならない。</p> <p>(3)卒業基準検定の取得 卒業年次の2月末日までに基準検定を取得しなければならない。</p> <p>(4)卒業論文の提出 原則として学校指定の形式で4000文字以上を作成し提出</p>								1 学年の学期区分			前期 中期 後期				
								1 学期の授業期間			20週				

- (留意事項)
- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。